

広島県知事殿

府中市有害鳥獣捕獲対策協議会  
会長 若井 紳 壯

平成29～令和元年度鳥獣被害防止総合対策交付金(鳥獣被害防止総合支援事業)  
に関する改善計画について

平成29～令和元年度において鳥獣被害防止総合対策交付金で実施した施設等について、当初事業実施計画の目的の達成が図られるよう、下記の改善計画を実施することとするので、報告します。

## 記

### 1 事業の導入及び取組の経過

耕作放棄地の増加や捕獲従事者の高齢化により、鳥獣被害が増えつつあった。

防護柵を設置する集落もあったが、逆にその周辺の集落で被害が増加したこと、防護柵があっても維持管理が困難となっている現状もあり、今後も防護柵の設置は難しいと考えられた。

このことから、加害獣の捕獲により被害を減少させるため、平成29年度から令和元年度に箱わなを、平成29年度と平成30年度に小型獣用箱わなを導入し、市内全域の被害のある集落に貸し出すことにより、箱わなや小型獣用箱わなを設置することで、捕獲体制の拡充を図る取組を行った。

### 2 当初事業実施計画の目標が未達成である原因及び問題点

平成29年度では、被害はいったん減ったものの、平成30年度の豪雨災害で、山の斜面の崩落により集落柵や農地に設置されていた防護柵が被害を受け、防ぐ柵になっていなかったため加害獣の侵入を許すことになり、イノシシによる被害が増加した。

また、護岸が崩れた箇所がある河川もあり、復旧がなされていないことから、そこからもイノシシに侵入されている。

このような状況から、農業者の営農意欲が低下してしまい、集落で取組む環境改善や柵の設置が進んでいない。

### 3 実績及び改善計画

(様式)被害防止計画の達成状況に係る部分

#### (1) 実績

区分	指標	対象鳥獣	被害防止計画の達成状況					達成率 (%)	備考
			目標 (R1年)	基準年度 の実績 (H27年)	1年目 (H29年)	2年目 (H30年)	3年目 (R1年)		
被害防止計画 (被害の軽減目標)	被害金額 (千円)	イノシシ	3,356	6,713	3,028	5,904	4,750	58.5	
		シカ	102	206	0	43	81	120.2	
		サル	189	378	25	36	200	94.2	
		小動物	88	176	46	41	22	175.0	
		その他鳥類	37	74	9	29	0	200.0	
	合計		3,772	7,547	3,108	6,053	5,053	73.9	
	被害面積 (ha)	イノシシ	2.51	5.02	3.17	6.23	5.07	-2.0	
		シカ	0.05	0.10	0	0.04	0.09	20.0	
		サル	0.06	0.12	0.04	0.06	0.20	-133.3	
		小動物	0.03	0.05	0.07	0.04	0.02	150.0	
その他鳥類		0.04	0.08	0.01	0.03	0	200.0		
合計		2.69	5.37	3.29	6.40	5.38	-0.4		

#### (2) 改善計画【令和2年度計画作成 府中市鳥獣被害防止計画引用】

区分	指標	対象鳥獣	被害防止計画の達成状況					達成率 (%)	備考
			目標 (R4年)	基準年度 の実績 (H30年)	1年目 (R2年)	2年目 (R3年)	3年目 (R4年)		
被害防止計画 (被害の軽減目標)	被害金額 (千円)	イノシシ	2,952	5,904	4,920	3,936	2,952	100.0	
	合計		2,952	5,904	4,920	3,936	2,952	100.0	
	被害面積 (ha)	イノシシ	3.11	6.23	5.19	4.15	3.11	100.0	
	合計		3.11	6.23	5.19	4.15	3.11	100.0	

(注) 1 指標は、被害防止計画と整合をとること。

2 被害防止計画の達成状況のうち、「目標」、「基準年度の実績」は被害防止計画から転記し、それ以外は被害防止計画に基づく取組実績を記載すること。

3 各指標ごとの合計も記載すること。

4 被害防止計画を見直し、目標の変更を行った場合は、備考欄に新たな目標を記載すること。

#### 4 改善方策

箱わな設置により捕獲頭数は年々増えており、イノシシによる被害(面積, 金額)は一旦減った後に豪雨災害で増加し再び減少に転じている。

このことから、豪雨災害後も捕獲頭数が増えていることを考えれば、本来であればイノシシによる被害は減少し続けていたものと考えられる。

よって、今後も箱わなによるイノシシの捕獲及び小型獣用箱わなによる捕獲を継続するとともに、農地に設置されている防護柵の損壊箇所の修繕や再整備を行い、柵の未設置集落については整備を進める。

また、環境改善の実施や農地に設置されている防護柵の見回りや修繕を適切に行い柵の維持管理に努める。

## 5 改善計画を実施するための推進体制

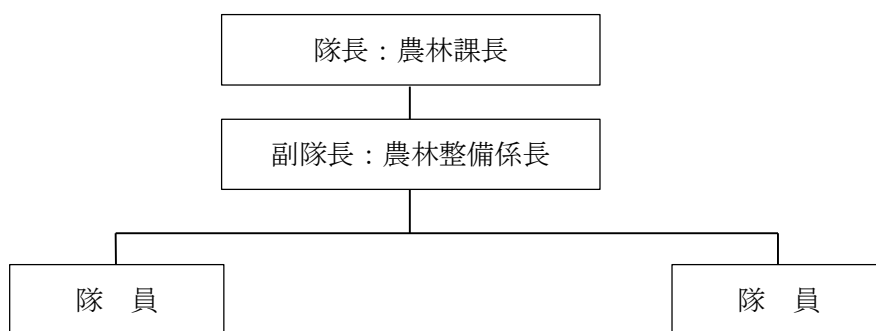
箱わなによる捕獲実績も伸びており、加害獣による被害も減少に転じていることから、特に新たな体制を設けることはせず、今までの取組を継続して行う。

府中猟友会及び上下町猟友会において組織された有害鳥獣捕獲隊で捕獲活動を実施する。隣接する市町と連携し、市町界周辺区域での捕獲活動を円滑に実施する。

また、鳥獣被害対策実施隊は、府中市有害鳥獣捕獲隊及び府中市有害鳥獣捕獲隊上下方面隊と協議しながら、市内全域の効果的な捕獲が図られるよう広報・啓発活動を実施する。

市は集落ぐるみで環境改善を中心とした鳥獣被害対策に取り組める地域の体制づくりのために啓発活動を推進し、周辺の山林草刈・整備を行うほか、野生鳥獣が近づかない集落環境づくりを推進する。山間地の周辺林地では草刈等の整備を行い、生息環境の管理を行う。

### 府中市鳥獣被害対策実施隊組織図



### 府中市鳥獣被害対策実施隊の業務

